

<令和5年度2学期 始業式>

皆さん、おはようございます。2学期が始まりました。充実した夏休みを過ごし、良い顔になった皆さんと共に始業式を迎えることができ、とても嬉しいです。今日は今後の皆さんの更なる成長を願って、この夏、私に多大なる刺激を与えてくれたある人物についてお話します。

8月24日からの6日間、鷺高グローバル人材育成プログラムという行事で、1～3年生の希望者15名とシンガポール・マレーシア研修旅行に行ってきました。そこで出会った人物の話です。私たちの研修旅行を現地でサポートしてくれた、BENさんという青年についてお話します。

彼はこの夏、シンガポール国立大学（この大学は、1905年に設立されたシンガポールで最も古い大学で、今年の世界大学ランキングでは世界19位という、アジア随一の大学です。ちなみに東京大学は39位です。）を卒業した後、留学生をサポートする日本の旅行会社現地法人に就職しました。新入社員として私たちと6日間ともに行動してくれました。

彼は大学で機械工学を専攻し、特に飛行機の開発について熱心に研究していたそうです。合わせて日本文化にも関心があり、日本文化を研究するサークルに所属し、熱心に活動していました。そんな彼の夢は、日本初の国産ジェット機を開発していた大手日本企業に就職し、ジェット機開発プロジェクトに携わるというものでした。ところが、今年2月にその国産ジェット機開発プロジェクトは中止となってしまいました。彼の長年の夢を果たすことができなくなってしまったのです。しかし、BENさんは日本と関わることを実現すべく、日本の旅行会社に就職し、日本の若者と関わる仕事に情熱を賭けているのです。

たった6日間でしたが、私は、彼の情熱、夢の断念という障壁に屈することなく自分のやりたいことをとことん追求する情熱、そして日本や日本の若者に対する期待と暖かい眼差しに、大変刺激を受けました。彼の人柄に魅了されました。志を高く掲げ、挑戦し続ける姿勢に感銘を受けました。

BENさんはシンガポールで生まれ育った中国系シンガポール人です。シンガポールという国は、国土も狭く、資源もない国ですが、世界各地から多くの人が集まる多民族国家という特徴や、貿易や金融など他国と交流する活動がしやすい地の利をうまく活かしています。与えられた環境に甘んじることなく、そこからいかに成長していくか、工夫改善していくかという視点を国全体がもっているなど、BENさんはじめ現地の方と話をすることで感じました。資源がない分、人を大切にし、人が宝であり、人がより良い未来を創っていくという考え方が随所にあるなと思いました。シンガポールという国からも私は刺激を受けました。

研修旅行の最後に、BENさんは、よく頑張った15人の鷺高生たちにこんな言葉を残してくれました。

「FUTURE JAPAN, IN YOUR HANDS!1（日本の未来はあなたたちの手にある!）」

この言葉はぜひ鷺高生全員と共有したいと思いました。皆さんのこれからは、皆さん自身の手にかかっています。志を高く掲げ、挑戦を続けて欲しいと思います。より良い2学期にしてください。期待しています。

関連して、1冊本を紹介します。益田ミリさんというイラストレーターが書いた『タイムトラベル・世界あちこち旅日記』という本です。著者が若い頃からこれまでに旅した世界各地でのできごとや感じたことが、大変読みやすいタッチで綴られています。旅先ではいろいろな刺激を受け、考えや視野が広がることがよく分かります。鷺高図書館にありますのでぜひ読んでみてください。

以上で2学期始業式の私の話を終わります。